



慶應義塾大学ビジネス・スクール

総合電機メーカー 3 社比較 2010 年

5

日本の電機業界において、総合電機メーカーと呼ばれる企業は、株式会社日立製作所、株式会社東芝、三菱電機株式会社の 3 社である。同じ業界に属している同業企業なので、これら 3 社の財務体質はよく似ている。しかし、各社の戦略、近年の業績などを反映して、各社の財務諸表は、それぞれの企業の特徴を表わしてもいる。次ページ以降に、これら 3 社の連結財務諸表を掲げ

これらの財務情報はわずか数ページのものにすぎないが、そのほかの定性情報と組み合わせれば、多くのことが読み取れる。今までの経験から得られた情報、新聞・雑誌・書籍などの読書によって得られた情報、経営学の学習によって身につけた分析フレームワークなどをすべて使って、これらの財務諸表から何が読み取れるのか考えなさい。

10

15

【設問】

1. 日立製作所および東芝は、2010 年 3 月期において、税引前当期純利益を上まわる法人税等を計上している。また、非支配持分利益控除前では、損失を計上しているのにもかかわらず、非支配持分帰属利益を計上し、最終損益を悪化させている。この事実にもとづいて、日立製作所および東芝の連結経営スタイルについて論じなさい。
2. 総合電機メーカー 3 社の売上高原価率、売上高販管費率を計算し、このような順位になっている理由を考えなさい。
3. 日立製作所と東芝があまり利益を出せないで苦しんでいるのに対し、三菱電機は相対的に良好な業績を挙げている。財務諸表以外の定性情報とあわせて、その理由を論じなさい。

20

25

このケースは、クラス討議の資料として、慶應義塾大学ビジネス・スクール准教授 太田康広が作成した。

本ケースは慶應義塾大学ビジネス・スクールが出版するものであり、複製等についての問い合わせ先は慶應義塾大学ビジネス・スクール（〒223-8526 神奈川県横浜市港北区日吉 4 丁目 1 番 1 号、電話 045-564-2444、e-mail: case@kbs.keio.ac.jp）。また、注文は <http://www.kbs.keio.ac.jp/> へ。慶應義塾大学ビジネス・スクールの許可を得ずに、いかなる部分の複製、検索システムへの取り込み、スプレッドシートでの利用、またいかなる方法（電子的、機械的、写真複写、録音・録画、その他種類を問わない）による伝送も、これを禁ずる。

30

Copyright© 太田康広 (2010 年 7 月作成)